

第2章

生命科学探究講座

吉川 奈奈

2. 学習方法

第1回から第6回までを第1部として、博物館において骨格標本や顕微鏡標本などに実際に手に触れながら名古屋大学博物館の先生方の講義を聴いたり、野外観察園で植物進化に関する観察を行ったりした。第7回から第10回までを第2部とし、附属高校において名古屋大学農学部先生方から栄養や生物発光など生命についての様々な講義をうけた。

3. 成果と課題

次のデータは10回の授業直後のアンケート結果である。「大変そう思う」を1、「大体そう思う」を2、「どちらともいえない」を3、「あまりそう思わない」を4、「全くそう思わない」を5として集計したところ、以下のような結果を得た。去年度と今年の結果をあわせて考察してみる。

A. 今日の授業の内容はよく理解できましたか？	度数	1	2	3	4	5	平均	標準偏差
H21	303	19.5%	69.3%	8.6%	2.6%	0%	1.94	0.62
H22	283	27.2%	62.2%	10.2%	0.4%	0%	1.84	0.60

B. 今日の授業の内容に興味が持てましたか？	度数	1	2	3	4	5	平均	標準偏差
H21	303	39.6%	52.5%	5.9%	2.0%	0%	1.7	0.67
H22	283	49.8%	41.7%	7.4%	1.1%	0%	1.6	0.67

C. 何か新しいことを発見することができましたか？	度数	1	2	3	4	5	平均	標準偏差
H21	303	38.0%	55.1%	5.9%	1.0%	0%	1.7	0.62
H22	283	50.0%	42.8%	6.7%	0%	0%	1.56	0.62

D. 授業後に自分で調べてみようという気持ちが生まれましたか？	度数	1	2	3	4	5	平均	標準偏差
H21	303	38.0%	55.1%	5.9%	1.0%	0%	1.7	0.62
H22	283	30.5%	48.2%	19.5%	1.1%	0%	1.93	0.78

E. 授業に意欲的に取り組むことができましたか？	度数	1	2	3	4	5	平均	標準偏差
H21	302	27.2%	63.6%	6.6%	2.6%	0%	1.85	0.65
H22	272	38.3%	49.5%	10.1%	1.8%	0%	1.77	0.73

A、B、C、Eの結果によると、生徒が授業をよく理解し、興味を持って参加し、新しい発見をしていることがわかる。そして、その傾向は、去年と比べて、さらに強まっているようである。自分で調べてみたいという気持ちもかなり生まれているが、なかなか調べる機会がないことも事実である。

授業の感想を見ると、第1部では、博物館における鉱物や骨格の標本観察、ナメクジウオの解剖など、ふだん授業では行えないような貴重な体験を通じて、多くの発

見をしたようである。

第1部の博物館の講義においては、2. 科学的探求力（データの解釈・分析・推論・批評）も育成されたようである。

第2部の栄養や発光生物、生殖に関する講義においては、自分の身の回りに起こる事柄を、科学的に見直そうとする姿勢が育ったようであり、目標の1. 科学への興味・関心をもち、2. 科学的探求力（データの解釈・分析・推論・批評）が育成されたようである。

